

中国・義烏経済視察報告書

平成28年4月2日～4月5日（4日間）



和泉商工会議所
国際開発特別委員会

平成28年度 中国・義烏 経済視察報告書

国際開発特別委員会（委員長 橋本 光宏）では、4月2日（土）～5日（火）の3泊4日の行程で、製造業者や小売業者など26社総勢34名の方にご参加頂き、世界最大の日用雑貨卸売市場「義烏市国際市場」にて、共同買付を実施しました。義烏市国際市場は1区が5階建ての建物で、1区から5区で構成されています。東京ドーム30個分、400万平方メートルの敷地に約8万件の問屋が軒を並べており、1店舗1分、毎日8時間で見て回っても約半年はかかる規模の広さとなっています。約1900種40万品の商品がそろい、価格は日本の市場価格の1/10価格の物も少なくはありません。

今回も参加者1名につき一人の通訳を手配し、現地での商談、交渉、輸入代行までサポートをさせて頂き、参加者の方からは評価する声を頂くことが出来ました。

【1日目】4月2日（土）

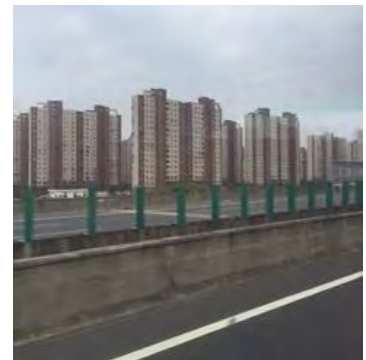
関西国際空港 集合



和泉市長 辻 宏康 様より激励のご挨拶

現地到着

一行は、上海浦東空港より約340kmの距離を専用バスにて義烏へ移動しました。当日は到着後にホテル会議室にて、明日からの商談に向け日本語通訳とのミーティングを予定していましたが、4月4日が日本の彼岸にあたる「清明節」の日にあたり、4/2～4が連休となっていた上、それに合わせ高速道路が無料ということもあり、大渋滞に巻き込まれ、所要時間4時間半の予定のところ、7時間半のバス移動となりました。ホテルへの到着が午後8時半ということもあり、急遽ロビーにて日本語通訳との顔合わせを行いました。



夕食会

日本語通訳との顔合わせの後、参加者の自己紹介を行いました。長時間のバス移動で、お疲れであったにもかかわらず、参加者一同、明日からの買付に向け情報交換をされるなど和やかに親睦を深めていらっしゃいました。



【2日目・3日目】

共同買付

翌朝から早速、約8万軒あるといわれる卸売問屋街で共同買付が始まりました。

参加者は開店前の午前8時半より、日本語通訳との打ち合わせを行い、仕入れたい商品の買付に奔走しました。また、中国で生産される商品のほぼすべてが流通しており、魅力的な商品が一同に揃っていることもあり、参加者の多くは午前9時～午後5時の営業時間中、熱心に商談をされていました。



日本語通訳と出発前の打合せ



東西南北に通路が広がっています



義烏市国際市場（二区の建物）



市場全体図

国際貿易城 1 区



花 類



花類パーツ



アクセサリー



鞆類

同じように見える商品でも、一つ一つの値段が違うため、いかに品質の良いものを安く購入するかが課題です。日本人価格で交渉されないよう、店主との交渉に熱が入ります。

国際貿易城 2 区



金物関係・パーツ



建築関係資材



金物関係

国際商貿城 1 区～5 区（通称：福田市場）、総面積 470 万平方メートル、店舗数は 8 万店以上と世界最大の日用雑貨卸売市場であり、価格は日本の小売価格の 1/10～1/5 となっていますが、仕入数により価格が変わります。最低 1,000 ロットからという店舗がほとんどですが、交渉次第で 100 ロットからでも仕入れが可能な店舗もあったようです。日本で並ぶ商品のほとんどがここから仕入されているのでは？と感じる程、日本でよく見る商品が並んでいます。

日本製と比較すると、品質的には低いと感じるものもありましたが、コストパフォーマンスを考えると非常にすぐれた商品が多いと感じました。

国際貿易城 3 区



スポーツ用品

国際貿易城 4 区



本革靴製品



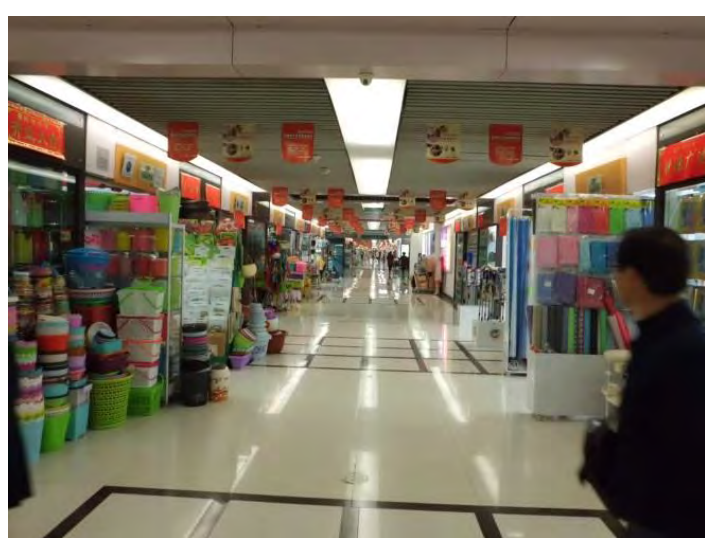
子供靴



サンダル



ネクタイ



家庭用プラスチック製品

情報交換及び事業報告会

2日目・3日目の夕食会前に定例ミーティングを実施し、各自の買付け状況等についての報告会を実施しました。また、各自の取組み状況や成果について報告及び情報交換を行いました。



【岸協会頭談話】

義烏市国際マーケットは中国製品が一同に揃っており、最も取り組みやすく、日本人向けの通訳も多い。

まずは、品質が悪いと感じても値段を聞くことだ。品質と値段が見合えば、後は交渉。探している商品が見つければ、次はメーカーとの交渉。最終的には、工場へオーダーで製品を作らせることが目的。中国は広大で、必ず信念を持って探せば、価値のある商品を見つけることができる。新興国の活力を活かし、是非とも成功を収めてほしい。



国際開発特別委員会 橋本委員長 挨拶



国際開発特別委員会 北野副委員長 挨拶



岸協会頭



大宅担当副会頭



阪口副会頭



山本副会頭

参加者から成果報告





ツアー参加者の声①

○LEDテープをサンプルとして購入した。製品に問題がなければ是非輸入したい。

○一区から五区を2日間かけて視察することにより、トレンドを知ることができた。

次の時代のヒントに繋げる機会となった。

○ベルト・アクセサリー・セグウェイを購入した。価格の安さにおどろいた。

○会議所のベトナム共同買付事業に参加したことが、きっかけで、化粧品の代理店を設立。

今回は、ノベルティとしてよい商品を買付けすることができた。



ツアー参加者の声②

- まだまだ、よい商品を見つけることができていないのかもしれないが、日本製とは品質が違うように感じた。
- 旅行グッズの購入を目的に参加。ネーム入れ商品について当初、ロット 5 万本のところ、交渉し、小ロットでも可能となった。



○今回は、買付目的の商品を決めていたので、効率的に商品を購入することができた。

日本の規格に見合うものを購入することができ、事前にしっかり調査することが大事。性能を調べるために日本価格の1/7で発電機を購入した。性能がよければ、是非輸入したい。

○初めて参加をさせて頂いた。オリジナルストラップを作成してくれるメーカーを探していたが思うような企業が見つからず、あきらめていたところ、滞在中に日本の取引先よりスポーツマフラーの受注を受け、偶然にも同

行していた日本語通訳の方のご主人が、取扱いをされているということで、大きな成果を得ることができた。

○菊花石を中心に石の卸売業者まで見学に行ったが、品質的に問題があり購入にまでは至らなかった。

○アクセサリ材料として、ターコイズを夏物のサンプル品として購入した。

○消耗品の購入を目的に参加。廃棄物用のフレコンバックを日本の価格の1/2で購入することができた。

○カッターケースを2,000個を日本価格の1/10で購入することができた。併せてカッターの刃、掃除用のハケ1,000個を購入。

○前回、タオルを購入したが製品の質が悪く失敗に終わった。今回はマスク・使い捨て手袋を購入。

○洋服の生地を探したが見つからなかったが、オリジナルのエンブレムを作成していることから、服飾パーツ等を視察して、今後エンブレム専用販売へ繋げることができればと考えている。

○今回で3回目の参加。購入したい商品の取扱い店舗も把握していた。アレンジメントの材料として、よい商品に出会え、予算をオーバーしてしまった。リボン製のバラをダンボールに2箱購入することができた。

○インテリアコーディネートの仕事をしており、今回はネットショップで販売する商品を購入したいと思い、初めて参加させて頂いた。食器類の輸入について、様々な規制があることを教えて頂くなど、国華園さんを始め、参加者の方からもアドバイスを頂きとても勉強になりました。

○塗装用の養生シートの購入を目的に参加。希望の商品を購入することができた。

今後は同業者や材料屋への販売も行っていきたい。

○事前のリサーチ不足で、購入することができず。次回は事前準備をし、参加したい。

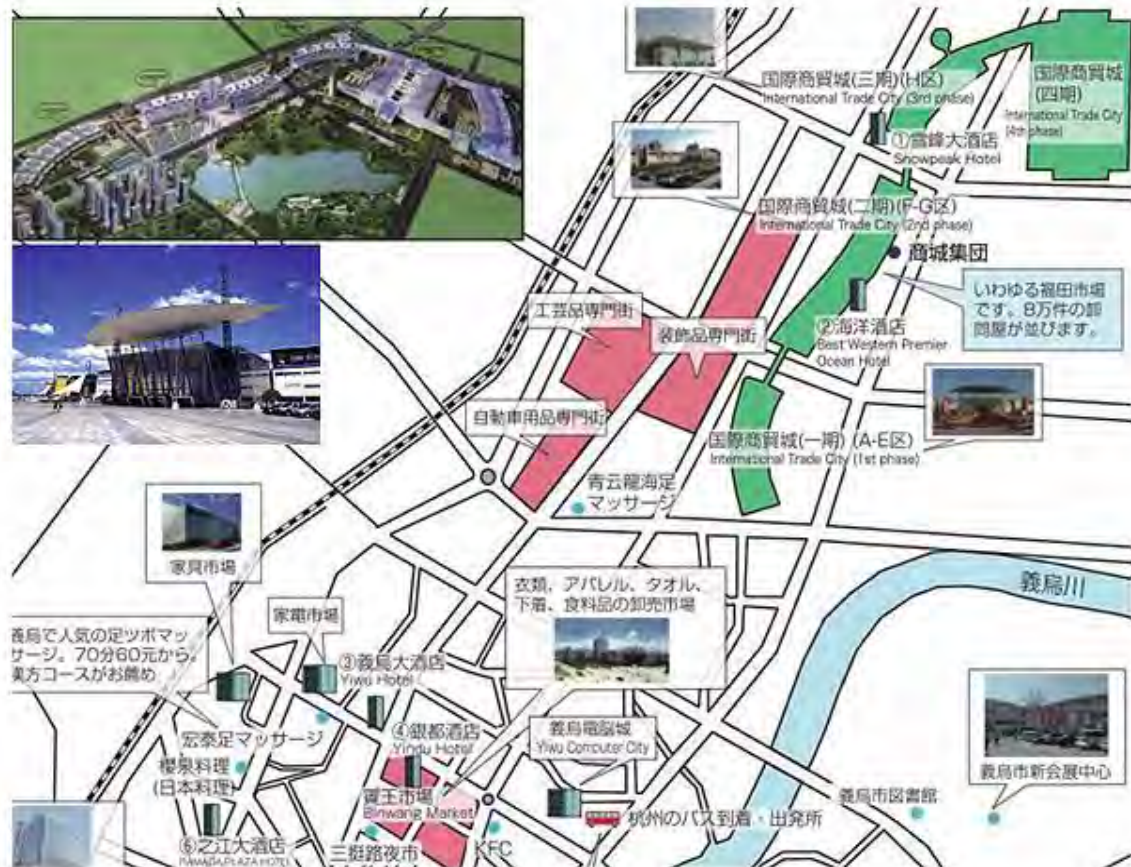
○車両関係部品を中心に商談を行った。車両ランプを安価で購入することができた。

○この事業がきっかけで、楽天でネットショップを展開することができた。世界ではアリババなどネットを利用したマッチングが主流となっており、ネット時代にきている。どんどん海外に視野を向けていかなければならない。

○市場調査と会社のノベルティとして、よい商品が見つければと参加した。

○会社の消耗品の買付を目的に参加。初日に交渉し、買付を行うことができた。

義烏マーケット地図



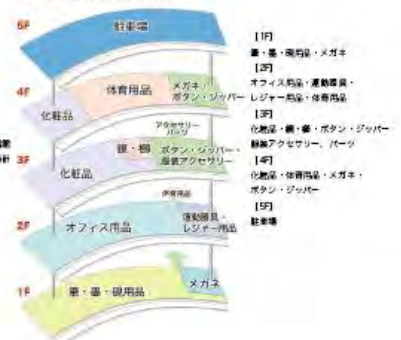
* 国際貿易城1区 *



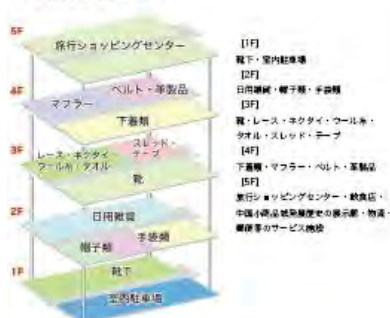
* 国際貿易城2区 *



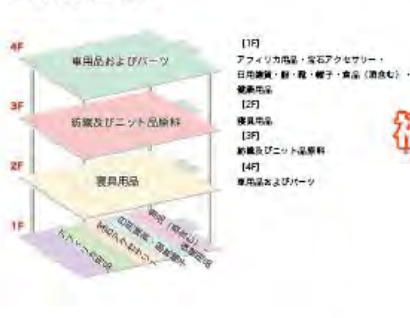
* 国際貿易城3区 *



* 国際貿易城4区 *



* 国際貿易城5区 *



福田市場施設案内図

視察行動内容総括

2013年に中国政府は義烏市を貿易特区として批准しました。同年、政府機関のうち外国人向けの部署を一箇所に集めたワンストップサービスを行う貿易サービスセンター（国際貿易服務中心）も開設し、さらなる貿易振興に力を注いでいます。現在、義烏市全体では約8万社の問屋、工場が30万アイテムに及ぶ商品を扱っており、中国からの雑貨輸出シェアは60%以上となっています。中国で流通しているありとあらゆる商品が卸価格で手に入る町となり、毎日20万人を超えるバイヤーが世界中から訪れています。

今回の中国・義烏経済視察において、義烏市国際商貿城（通称：福田市場）を実質2日間の限られた日程の中、参加者各々が、目当ての商品を求めて奔走されていました。180万種類の雑貨が販売されており、広大な面積を誇る市場の中から、価値ある商品を見出すために、日本語通訳を同行させ、交渉、商談を行って頂きました。毎日、夕方には成果報告会議を実施し、参加者各自から本視察の成果発表及び意見交換を行って頂き、情報の共有化を図ることができました。

最近では、中国人の爆買いが注目されていますが、中国人の思い切りの良さ、したたかさ、イエスノーをはっきりと言う迫力などは、大いに見習わなければと強く思いました。「百聞は一見に如かず」という言葉のとおり、中国の経済の発展と活力を直接見て、体感できる機会となりました。

最後に、前回のベトナム・ホーチミンの視察に引き続き、今回も会頭企業（株式会社国華園）の社員様5名にご同行頂き、買付に係る梱包、輸送等についてのレクチャーなど全面的にサポートをいただき、初めて参加された方でも、複雑な輸入手続きがスムーズに行うことが出来、大変お世話になりました。ここに改めて御礼申し上げましてご報告とさせていただきます。